滋賀県彦根市　さざなみ学園だより

さざなみ

Vol. 45
2024.10

「未来に向かって」



そよかぜ第一期・園芸部

さざなみ学園の療育

子ども総合支援センター活動紹介

ご寄付のお礼

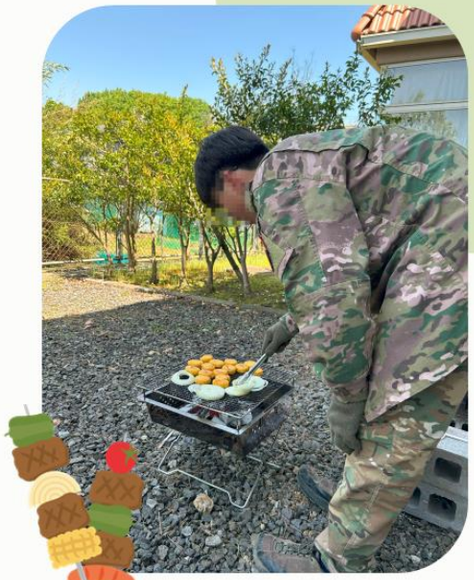
そよかぜ
第1期

今年度から発足した『そよかぜ第一期』。
この活動は児童たちが「こんなことをやってみたい！」「こんなことが出来るようになりたい！」と言ってくれることを児童、職員が一緒になって形にしていく活動となっています。
児童たちは、生活の中だけでは見られない色々な顔を見せてくれています。
沢山のことにチャレンジできる、またそれが経験として今後の児童たちの力となる、そんなワクワクする時間が沢山つまった活動になっています。今後の『そよかぜ第二期』の活動にもご期待ください。





Outdoor BBQ







園芸部

April

学園には『さざなみファーム』、『さざなみファーム２』の二つの農園があります。
初めは職員の趣味程度の活動でしたが、気付けば児童も集い、『園芸部』へと変化していきました。





子どもたちは、野菜やお花のお世話をすることを通して、愛情をかければかけるほどに成長する嬉しさや楽しさを感じてくれているように思います。日々暑い中ではありますが、とても丁寧にお世話をしてくれているおかげで、どんどんと農園が賑やかになってきました♪

May







June





July

「先生！これを育ててみたい！」「やったー！できたー！」そんな声が園芸部には飛び交っています。とてもあたたかく素敵な活動となっています。

さざなみ学園の療育のご紹介

退園して離れても、
ふとした時に思い出す、
学園で過ごした日々。

うれしい事があった時には
報告したくなる、
困り事があった時には
相談したくなる、
なつかしい職員たち。



近くを通ると、
久しぶりに立ち寄りたくなる、
なつかしの園舎。



大切な時間を過ごしたさざなみ学園は、
退園して何年経っても、特別な場所。
子どもたちは、さざなみ学園での生活で、
どのような体験や思い出を育み、
そして巣立っていくのでしょう。

さざなみ学園での生活や
療育、支援について、

①安全　②安心　③自律
④未来への希望　⑤巣立ち

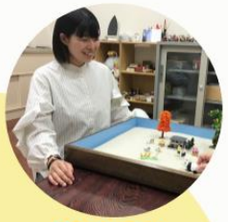
に分けてご紹介します。



さざなみ学園の療育に関わる職員



ケアワーカー
日々の生活を子どもと
一緒に過ごします。



セラピスト
子どものカウンセリング
を担当します。



看護師
子どもや職員の
健康を守ります。



用務員
施設の修繕は
なんでもござれ。
頼りになる元大工です。



事務員
施設の運営を支える
縁の下のちから持ちです。



栄養士・調理員
栄養バランスを考えて
毎日の食事をつくります。



さざなみ学園で大切にするのは 安全 と 安心

安全
子どもたちの
心身の安全を保障する事。

安心
子どもたちが
ほっとできる居場所になる事。

子どもたちの個性、これまで育ってきた環境によって、
子どもたちの感じる「安全」「安心」は様々です。
そんな子ども達の個々の状況に合わせて、
工夫を凝らしながら、「安全」「安心」を提供しています。



NEXT
次回の広報誌では、具体的にどのような事を意識してケアしているか、ご紹介します。

新たな歩みに向けて



さざなみ学園
園長　辻 亨

皆様方には、さざなみ学園に対しまして、日頃からご支援を頂戴致しておりますことに心から感謝致しております。

さて、数年前から乳児に対する入所支援を検討してきました。しかし、我が国の子どもに関する福祉施策は家庭養育を最優先とし、当県に関しても県東北部における乳幼児の入所措置が激減し、これまでとは変化している現状があります。

特に2023年度は、一時的な保護の委託が大変多くなっております。県東北部に当園を含めて乳幼児の一時保護施設が無い為、この現状を踏まえ、当園においては入所対象年齢を幼児への治療的支援にまで枠を広げ、加えて一時的な保護の委託要請に応えられるよう多機能・高機能化に向けて検討を重ねています。また、子どもたちの生活棟は築30年が経過しています。ここ数年、上水道のパイプが地下で破裂を繰り返していることや、躯体の歪みが原因による児童居室の建付けの不具合の他、電気設備など様々に経年劣化が顕著に表れてきています。

更に致命的なこととして、学園の園舎は新築当時、身体の弱い子どもたちの療育施設（虚弱児施設）として建設されたもので大舎制の建物です。現在、入所中の子どもたちの多くは大集団から受ける刺激をうまくコントロールできずに、相互に影響を及ぼしあい、不安定さを増大させていく傾向が顕著になっています。そのため生活集団を小さくし、刺激を統制しやすい環境作りが重要であると考えます。

こうしたことから、子ども家庭庁や県担当部局とも重ねて協議を行い、2025年度と2026年度の国・県からの補助金を得て、現在の駐車場への園舎の移転を計画しています。

さざなみ学園の新たな歩みに向け、皆様方には引き続き、ご理解とご協力を切にお願い致します。

子ども総合支援センター活動紹介

さざなみ子ども総合支援センター長　野々村一也



さざなみ学園はそのインケアにおいて、アタッチメントのインテンシブ・ケア・ユニットを展開する他、トラウマ・インフォームド・ケア、発達障害の二次障害治療などを展開して、支援の充実を図っています。このさざなみ学園のインケアで培ったアセスメントや方針の設定、介入、対応の仕方など、様々な支援方法を地域支援に活かす為に、さざなみ子ども総合支援センターは歩み始めました。昨年、2023年度からスタートして、本年で2年目となります。さざなみ学園の勤務と兼務で、セラピスト3名で実働しております。

今年度は支援者支援事業として、市政課、特に子ども家庭センター、子育て支援課、児童家庭相談室などが関わる要保護地域連絡協議会等のカンファレンスで、スーパービジョンを提供しています。また、学校支援事業として、市町の教育委員会からスクールカウンセリングの委託を受け、全5校に出務しました。さらに、啓発研修事業として、地域でアタッチメント、児童虐待、トラウマなどの研修を実施しました。

増え続ける児童虐待への支援、少子化対策を中心とした子育て支援など、子ども家庭福祉領域における我々の活動はまだ始まったばかりです。

子ども家庭庁、滋賀県子ども若者部子ども家庭支援課、児童相談所をはじめ、多くの関係機関のご指導や連携の中で、邁進していきます。引き続きご支援を賜りますようお願いします。

新規採用職員

今年度、2名のケアワーカー、1名のセラピストが入職しました。

野球やバドミントンが得意なケアワーカー、吹奏楽を続けてきた音楽好きなケアワーカー、料理好きで家庭的なセラピストと、各々が個性を活かして日々の子どもの支援に携わっています。

どうぞ宜しくお願い致します。



さざなみ学園インスタグラム

2023年度からスタートした『さざなみ学園SNS』ですが、ついにInstagramのフォロワー数200人を達成しました。

皆様のコメントの一つ一つを読ませて頂いており、とても励みになっております。厚く感謝申し上げます。

これからも、さざなみ学園の事を知って頂けるよう頑張っていきますので、ご支援のほど宜しくお願い致します。

さざなみ学園のSNSについては、本冊子裏表紙のQRコードからもご覧頂けます。



福祉サービスの苦情相談について

福祉サービスの苦情相談について さざなみ学園では、提供する福祉サービスについての苦情解決システムを設置しております。2023年度につきましては、苦情解決システムを通してのご相談はありませんでした。これからもご利用者の皆様からのご要望・ご質問などがございましたら、お気軽にご相談下さい。

2023年度 ご寄付のお礼



2023年度もたくさんのご寄付を頂きました。皆様のご支援により、子どもたちの生活が守られています。謹んでお礼を申し上げるとともに、引き続きご支援の程宜しくお願い申し上げます。

本部会計

寄付金

坪田和男
生駒英司
永井弘男
小久保せい子
岡田学
株式会社原田
山本沙貴子
西川俊介
吉田真一郎
トラヤ商事株式会社
中川外實
滋賀日商プロパン株式会社
西川忠男
日本電気硝子労働組合磊友会
安岡加代子
太田文野
辻井ひで子
西村つた江
富田恵子
三輪和宏
某氏

施設会計

寄付金

NPO法人国際支援活動協会
株式会社吉澤ステープル

物品寄付

日本電気硝子株式会社
松本すみ子
山縣俊之
キリンビール株式会社滋賀工場
キリンビバレッジ株式会社滋賀工場
社会福祉法人彦根市社会福祉協議会
はぴとも基金
大橋忠司
Berezina Marharyta
某氏（4名）

ボランティア レイカディア大学園芸学科

（敬称略・順不同）



レイカディア大学の皆様による
葉狩ボランティアの様子。



退園生より
ご寄付を頂きました。

後援会について

後援会会長よりごあいさつ

早春の候、後援会会員の皆様におかれましては、益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。平素より、後援会活動に格別のご理解、ご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さざなみ学園も設立して60年余りが経ちました。私とさざなみ学園とのお付き合いも40年余りになりますが、この長い年月の間に、世の中の状況、生活のあり方など沢山の事が大きく変化してきました。さざなみ学園も同様です。40年以上も前の私には、未来の、つまり2024年のさざなみ学園の姿は想像もつきませんでした。1962年に虚弱児施設として始まり、1993年に園舎を新たに移し、1998年に情緒障害児短期治療施設として事業を開始しました。2023年には子ども総合支援センターを開設しました。そして、今現在もさざなみ学園は未来に向かって歩みを進めております。地域支援も含めた多機能化・高機能化、新園舎の移築など、どのような形で実現されるのか楽しみでなりません。想像を超えていくようなさざなみ学園の未来を、私も期待しております。

後援会といたしましても、少しでもお力になれるように応援していきたいと考えています。後援会の活動は皆様のご理解とご協力によって成り立つものです。今後とも、ご支援賜りますよう心より宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸をお祈りし、ご挨拶とさせて頂きます。

さざなみ学園後援会　会長　中村義一

2023年度に後援会へ寄付をしていただいた方々

久次米康彦
小堀嘉克
谷沢彰彦
奥山防水株式会社
森田よしえ
庄美子
堤律子
清水浩二
株式会社メガネのハヤミ
東基和
中村義一
米田義治
岩根順子
谷口淑恵
川並正幸
レイカディア大学
鳥居本学区仏教婦人会
某氏



（敬称略・順不同）

編集後記

『さざなみ学園だより45号』をお読み頂き、ありがとうございます。今年度から『園芸部』が始まり、色々な野菜や植物を育てています。丁寧に土壌を耕し、毎日皆で愛情を込めてお世話をする中で、大人の背丈を超えるほどに大きなヒマワリが育ち、キュウリやスイカ、ジャガイモも採れました。学園の子ども達もすくすく育つ事ができるよう生活環境を整え、日々の支援をしていきたいと思います。



DONATION FOR CHILDREN

ご寄付のお願い

皆様のご支援のおかげで、1963年の開園から今日に至るまで、生きづらさを抱えた多くの子ども達の療育に携わる事ができました。施設を運営していく為に、皆様からの力強いご支援を必要としています。どうか一層のご支援を心よりお願い申し上げます。

皆様から頂きましたご支援は、老朽化した建物の建て替え・改築や適切な療育の実現のために使わせて頂きます。

▶ 受付口座

振込先名	社会福祉法人 さざなみ学園
銀行名	ゆうちょ銀行
支店名	鳥居本支店
預金種類	普通預金
口座番号	01010-7-3559

※「寄付金」と「後援会費」は別の扱いとなります。「後援会費」では控除を受けられません

※ご支援頂きました際には「寄附金受領証明書」を発行させて頂きます。

▶ ご注意ください

ゆうちょ銀行のサービス料金新設により、2022年1月17日から学園払込み票(赤)で、窓口やATMから「現金」で振込する場合は1件ごとに110円が加算されます。詳しくは、ゆうちょ銀行にてご確認ください。

ご寄附のお申し出、お振込みのお手続き(郵便振替用紙)、ご質問等につきましては、さざなみ学園受付窓口までご連絡下さいますよう、お願い致します。

児童心理治療施設
社会福祉法人 さざなみ学園
TEL：0749-22-2523

〒522-0004
滋賀県彦根市鳥居本町1586番地
TEL：0749-22-2523
FAX：0749-22-2563

寄附金に関する控除制度のご紹介

個人でご寄付をお考えの方へ

社会福祉法人に対する個人の方からのご寄附には、「所得控除」「税額控除」が適用されます。下記、いずれかの控除方法を選択する事ができます。

「所得控除」の場合

【寄附金額】－【2,000円】＝【所得控除額】

（寄附金額は、総所得金額の40％相当額が上限）

「税額控除」の場合

（【寄附金額】－【2,000円】）× 40％ ＝【税額控除額】

（寄附金額は、総所得金額の40％相当額が上限）
（税額控除額は、所得税額の25％相当額が上限）

※補足（手続きについて）

・「所得控除」「税額控除」のいずれの場合においても、控除を受けるには「確定申告」が必要となります。「確定申告」には「寄附金受領証明書」が必要です。
・2024年度の「確定申告」の時期は、「2月17日～3月17日まで」です。
・勤務先で実施の年末調整では、控除を受ける事はできませんのでご注意下さい。

住民税の寄附金所得税額控除について

（【寄附金額】－【2,000円】）× 控除率 ＝【税額控除額】

（寄附金額は、総所得金額の30％相当額が上限）
（税額控除額は、市民税所得割より控除されます）

※補足（「控除率」について）

①滋賀県が指定した寄付金　⇒　4％
　：（※滋賀県内にお住まいの場合になります）
　：（※滋賀県外の方は、お住まいの市町村にご確認下さい）
②市町村が指定した寄付金　⇒　6％
　：（※お住まいの市町村が弊法人を指定しているかご確認下さい）
「①」「②」の双方が指定した場合、合わせて「10％」の控除率

※補足（手続きについて／所得税の確定申告を･･･）

「している場合」　：住民税の申告は不要です（所得税の手続きと連動）
「していない場合」：住民税の申告が必要です（所得税の還付は受けられません）

法人でご寄付をお考えの方へ

社会福祉法人に対する寄附金については、一般の寄附金とは別枠で、「寄附金の合計額」と「特別損金算入限度額」といずれか少ない金額の範囲内で損金に算入されます。詳細につきましては、最寄りの税務署、お住まいの市町村の関係窓口、または国税庁にお問い合わせ頂きますよう、お願い致します。

社会福祉法人

さざなみ学園

Sazanami Gakuen

運営理念

私たちは、生き辛さを抱えた子どもたちの権利を擁護し、環境を整え、
子どもたちの健全な発達保障と社会自立を目指します。

HP

Instagram

SAZANAMI1963

Facebook

http://sazanamigakuen.org

社会福祉法人 さざなみ学園
〒522-0004
滋賀県彦根市鳥居本町1586番地
TEL (0749)-22-2523
FAX (0749)-22-2563

編集・発行
さざなみ学園後援会事務局
振替　01010-7-3559